

Report

ジュニアヨットスクール葉山 活動レポート⑩

大自然で多くのチャレンジを行った「伊豆大島外洋帆走訓練」



初日は好天に恵まれ、南風に向かって大島をめざす生徒たち

2014年8月22日から24日の3日間、ジュニアヨットスクール葉山では、今回で5回目となる葉山から伊豆大島までの伊豆大島外洋帆走訓練を実施しました。この活動の目的は、普段OP級やミニホッパ一級など小型のディンギーで活動しているスクール生が、大型セーリングクルーザーでの外洋帆走を通じ、普段感じることのできない海の壮大さや厳しさを体験するとともに、世代の異なる仲間たちと協力しながら自然の変化に対する判断力や適応力、協調性やリーダーシップなどを育むことにあります。

今回参加したスクール生は、小学2年生から中学2年生までの12名、それぞれ「フッフル号(41ft)」と「アルページュ号(36ft)」の2隻に分乗し、葉山から伊豆大島までの往復約96kmの航海にチャレンジしました。往路は南寄り10~13m/sの向かい風となり、スクール生を乗せた2艇は方向転換を繰り返しながら大島をめざしました。今回は出入港時を除いて補機(エンジン)を使うことなく、風力だけで大島までの50kmを走破。6時間を超える大航海では、大きな波で船酔いするスクール生もいましたが、最後までクルーとしての役割を果たし、皆満足そうな表情で大島に上陸しました。

2日目は突然の豪雨に見舞われ、午前中のフィッシング実習は1時間程度で中止となりましたが、雨の上がった午後はシュノーケリングを体験。少々低い水温ながら元気に海に入り、大島の美しい海を堪能しました。また、その夜に行ったBBQでは、スクール生が炭おこしから調理までを担当して、コーチやオーナーなどの大人たちに振る舞いました。

復路も10m/s近い南風となりましたが、今度は追い風ということもあり波に叩かれることもなく、ジェネ

カー（追い風用のセール）を使っでの高速クルージングを体験しつつ、4 時間足らずで母港の葉山マリナーに入港しました。

3 日間のカリキュラムでは、チームとして協力し合いながら行動することで、スクール生の表情がみるみる逞しくなっていくのが印象的でした。中には初めて親元を離れて一人で夜を過ごすというスクール生もいましたが、頼もしい先輩たちに助けられながら優れた吸収力で大自然と向き合い、大きな成長を遂げました。

参加者の感想

《クラブ生》 熊谷亮さん(中 2)

「クラブに入ったのは親の薦めで、最初は海に行くのがイヤだったのですが、このクルージングを体験してから海もヨットも大好きになりました。今となってはクラブに僕を入れた親に感謝ですね。このクルージングには第 1 回から参加していて、今回は 5 回目となります。最年長ということもありリーダーを務めました。去年できなかったことが今年ではできるようになっていたり、セーラーとして少しずつ成長していることが実感でき、本当に有意義でした。中学 3 年生となる来年は受験のため参加できませんが、無事、高校に入学できたら、ぜひまた参加したいです！」



《スクール生》 高野瀬景太さん(小 4)

「初めてクルージングに参加し、大型のセーリングクルーザーに乗るのも初めてでした。参加する前は OP 級みたいに沈すると思っていました。OP 級みたいな小さなヨットでも大変なのに、こんな大きなヨットが沈したらどうなっちゃうんだろうと思って、ビクビクしていたんです。でも、大きなヨットは沈しないってことがわかって、それからは安心できたし、とても楽しくなりました。波が来るたびにズブ濡れになったけど、それもいい思い出です。一番楽しみにしていたシュノーケリングも体験でき、すごくたくさん魚がいてビックリしました。もう大きなヨットは沈しないことがわかったので、来年も参加したいと思います」



《スクール生》 林田優希さん(小 2)

「お母さんに参加してみたらと言われ、シュノーケリングが楽しそうだなと思って参加しました。飛び込み台はちょっと怖かったけど、台の先まで行ったら飛び込むしかなと思ってがんばりました。ちょっと痛かったけど楽しかったです。それに、行きの時に波をたくさんかぶったことや、海に潜って魚をみたことも楽しかったし、舵を持った時は、思ったほど重くなく簡単にできてうれしかったです」





クルージングに使用したフッフール号(手前)とアルペー ュ号



ジェネカーを揚げるべく、必死でウィンチを巻く生徒たち



揺れるキャビンでは、海図を使ってナビゲーションの訓練



海岸で天体観測を実施。全員「流れ星を目撃した



フィッシング講習は2人組で挑戦。慣れない餌付けに苦戦



インストラクター指導のもとシュノーケリングの基本を学んだ



夕食はロッジの庭でBBQ。加藤オーナーの発声で乾杯！



BBQ 一行となり調理を行う生徒たち



最終日 出港する前に記念撮影。逞しい顔に笑顔が輝いた



葉山マリナーが近づきジェネカーを収容。無事航海を終えた